

みなさん、こんにちは。そろそろゴールデンウィーク。みなさんも新しいクラスになれ、お友達もたくさんできましたか？

県立文化施設では、楽しいイベントがたくさんありますので、お友達を誘って遊びに行きませんか？

県立博物館

企画展 ブータン



～しあわせに生きるためのイベント～

皆さんはブータンという国をご存知でしょうか？ヒマラヤ山脈の南に位置する国で、山国であること、人口が七十万人台であることなど、山梨との共通点もあります。

ブータンは国民総幸福（GNH）という指標で有名です。国の豊かさをGNH（国民総生産）のような物質的・経済的な尺度で評価するのではなく、精神的豊かさで評価しようという考えです。そこには無理な開発をせず自然環境を大切に、人々の暮らしの中にある伝統文化を守りながらゆっくり近代化を進めるといった思想が存在します。



ドルジ・チャン父母仏タンカ (ブータン王国国立博物館蔵)

実際に二千年の国勢調査では、「幸せ」と回答した人が約九十七%を占め世界が驚きました。彼らを感じてい

る幸福感は、多くの人が信仰するチベット系仏教、豊かな自然環境、国民からの信頼と尊敬の念が篤い王室と密接な関わりがあるのかもしれない。この展覧会では日本初公開を含む貴重な資料の数々により、その根源となるブータンの伝統文化や思想に迫ります。



グル・パドマサンバヴァ坐像 (ブータン王国国立博物館蔵)

我々にとって「幸せ」とはなんだろうか？そんなことを見つめ直すきっかけとしても、ぜひ本展に足を運びください。

県立美術館

特別展

バロックの巨匠たち

～ルベンス レンブラント、

ペラスケスと栄光の時代～



みなさんはどんな絵が好きですか？自然の風景を描いた絵、美しい人物が描かれた絵、幻想的な世界を描いた絵……。バロックの巨匠たち展では、さまざまな絵画を展示します。



ジョヴァンニ・フランチェスコ・ロマネッリ《受胎告知の天使》 ©Musée de la Chartreuse de Douai

ところで、「バロック」とは何でしょうか？音楽や歴史の授業で耳にしたことがあるかもしれませんが、美術におけるバロックとは、十七世紀頃におけるヨーロッパで広まったスタイルで、絵の中に引き込まれそうなりアルな表現と、光と影のコントラストがはつきりとしたドラマチックな描き方が特徴です。聖人や天使などキリスト教のテーマを描いた作品が多いのもポイントの一つです。



17世紀フランドル派の画家 《パベルの塔》©National Gallery in Prague 2016

またなんといつても、バロック絵画はその大きさが特徴です！

王侯貴族や教会から注文を受けた芸術家たちは、それぞれの工房でおおぜいの弟子たちと一緒に大きな作品を作りました。今回の展覧会にも、みなさんの身長よりも大きな作品がたくさん展示されます。ぜひ、見に来て下さいね！

開催期間は四月十五日（土曜日）～六月十一日（日曜日）まで。

県立考古博物館 企画展 甲府城下町の賑わい



かつて山梨に「お城」があったことをみなさんは知っていますか？「甲府城」とよばれるその城は、今から約四百年前、武田氏が滅びた後に豊臣秀吉

の命令を受けた浅野長政・幸長父子によって完成しました。



甲府城と城下町（イメージ）

江戸時代に入ると甲府城は徳川家が支配するようになり、周辺には武家屋敷や町人地、寺社地などが広がる城下町が整備されていきました。一七〇四年、五代将軍徳川綱吉の側用人であった柳沢吉保が城主になると、新しい御殿の築造や石垣の改修などが行われ、城下町も大いに盛り上がりしました。

この春の企画展は、まさにその「甲府城下町の賑わい」をテーマに行っています。特に最近甲府駅前が開発が進み、七十カ所をこえる地点で発掘が行われています。



磁器 江戸時代 甲府城下町遺跡出土

「甲府城下町遺跡」として知られるこれらの遺跡では、金の生産にかかわる資料や甲州街道の宿場町であった頃の様子など、江戸時代の甲斐国の賑わいをありありと伝える発見が続いています。本展では、こうした甲府城を

中心に栄えた城下町の様子を、最新の研究成果をもとに紹介いたします。開催期間は四月二十二日（土曜日）から六月十一日（日曜日）まで。

県立文学館 移動文学館の紹介 その2



文学館では、児童・生徒のみなさんに山梨ゆかりの文学について知ってもらえるように、わかりやすくコンパクトにまとめた「移動文学館」（アウトリーチ）セットの貸し出しを行っています。みなさんは、学校の図書館などでもう見たことがありますか。これについては、平成二十八年四月号で「石川啄木」「飯田蛇笏・龍太」「村岡花子」のセットを紹介しました。

このたび、この三セットに新しい仲間が増えましたので、紹介します。

「宮沢賢治 ～イーハトーブの世界・嘉内との友情物語」

「銀河鉄道の夜」星空写真童話 銀河鉄道の夜」にちなんだ天体写真に、銀河鉄道のイラストや星座の名前が添えられています。写真は、牟田淳さんの製作によるものです。



カラーポスター3枚（A1） 「宮沢賢治ってどんな人？」 「保阪嘉内との友情」「童話の木」の三枚で構成。賢治の生涯と作品、山梨県出身

の嘉内との友情を写真と説明文でた
とることが出来ます。



イーハトーブの木の模型

賢治の人生や物語に関するモチー
フを、宮沢賢治イーハトーブ手帳を
がかりに木製の地図上に置くように
なっています。モチーフは手にとつて
動かせます。それにより、賢治の理想
郷・イーハトーブの世界にふれること
ができます。

デザイン・製作は、山梨県在住の木
工作家、ニヤームルクロツペ代表の向
井野々花さんです。



これらのセットは学校の希望でいつ
でも貸し出しできます。学校でぜひ、見
てくださいね。

山梨近代人物館

第五回展示

郷土のために尽くした人々



山梨近代人物館は山梨県ゆかりの人
物や県政の歴史を紹介して多くの皆
さんに親しんでいただいています。

第五回展示は「郷土のために尽く
した人々」がテーマです。

明治時代の幕開けとともに訪れた
社会や文化の大きな変化は、山梨にも
さまざまな影響や課題をもたらしま
した。こうしたなかで、郷土のために
産業を興し、多くの人々へ教育を普
及させ、新たな時代の変化に対応して
いった人々を紹介します。

山梨県の代表的な民権運動家とし
て活躍した「小田切謙明」や「蒙軒塾
(学舎)」を設立して近隣の子弟の教
育に努めた初代山梨県議会議長「近藤
喜則」。山梨裁縫学校(現在の甲斐清和
高等学校)を設立し、山梨の女子教育
に尽力した「伊藤つた」などなど。

山梨近代人物館には、知らないこと
や知りたいことがたくさんあつまっ
ています。



「子ども向けクイズ」と「笹子隧道物語」

また、館内には、プロジェクトショ
ンマップ「笹子隧道物語」やタッチ
パネルで答えるクイズなどもあります。
楽しいクイズで、たくさん的人物と出
会うことができます。

山梨近代人物館は、開館時間中は、
いつでも無料で観覧できます。

また、団体予約も受け付けています。
詳しくは、電話でお問い合わせくだ
さい。

電話は、〇五五・二三一・〇九八八
です。

県立科学館

ゴールデンサイエンスショー開催



ゴールデンウィークの期間中、特別
プログラムとして「ゴールデン・サイ
エンスショー」を多目的ホールにて一
日三回開催します。



サイエンスバトル

普段のサイエンスショーをバージ
ョアップした、ゴールデンウィークに
しか見られない楽しい科学実験ショ
ーを体験してみませんか。
「光と鏡のイリュージョン」、「燃え
る!爆発!大実験」、「爆裂!ドラム缶
つぶし」など、新しい実験もぞくぞく
披露します。



ゆらゆらゆれる

開催期間は、四月二十九日(土曜日)
から五月七日(日曜日)まで。開始時間
は、午前十一時から、午後一時三十分
からと四時からで、各回とも三十から
四十五分間です。
事前の申し込みは必要ありませんの
で、直接多目的ホールにお越しくださ
い。多くの方のご来館をお待ちしてい
ます。

詳しくは、県立科学館ホームページ
をご覧ください。直接お問い合わせ
ください。

電話は、〇五五・二五四・八一五
です。

県立図書館

資料紹介展示

「子どもにすすめたい本2017」



毎年約八万冊の本が出版されていま
す。二〇一六年に出版された本の中か
ら、山梨県内の公共図書館に勤める
職員が、各年代別におすすめた本
一一〇冊を選びました。

資料紹介展示「子どもにすすめたい
本2017」では、これらの本を集め
て展示をします。いろいろな本を実際
に、手に取って読むことができます。
授業で活用したい本、読み聞かせに使
う本をお探しの先生方もぜひご覧くだ
さい。



今年の展示の様子

開催期間は、四月二十二日(土曜日)
から五月十二日(金曜日)までです。
また開催期間中の土曜日・日曜日・祝
日の午後二時三十分からは、とことこ
おはなし会(読み聞かせ)も行います。
ぜひお楽しみください。

先生方へ
「博学連携のお知らせ」
美術館、博物館、
考古博物館(埋蔵文化財センター)、
文学館、科学館、

美術館、博物館、考古博物館(埋
蔵文化財センター)、文学館、科学
館では、教育プログラムの開設や出
前授業、貸出教材など各館の特色を
生かした教育普及事業を実施してい
ます。

詳細は各館担当者までお気軽に
お問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

県立美術館 学芸課

電話 五五・二二八・三二五八

県立博物館 企画交流課

電話 五五・二六一・二六三一

県立考古博物館 学芸課

電話 五五・二六六・三八八一

埋蔵文化財センター

電話 五五・二六六・三一六

県立文学館 学芸課

電話 五五・二三三・八八

県立科学館

電話 〇五五・二五四・八一五

第一号を発行した平成二十五年は、
本県で国民文化祭の開催や富士山世
界遺産登録があり、これを契機に児
童・生徒の文化や、芸術への関心が
年々高まってきていると思われま
す。これからも県立文化施設の情報を
提供していきますので、学校現場に
おかれましては、各施設を積極的に
活用していただけますようお願いい
たします。

美術館、博物館、考古博物館で
は、小・中・高等学校の児童・生徒は、常設展・特別(企画)展を無料で観覧できます。

県立美術館、博物館、考古博物館、文学館では、小・中・高校生
の常設展・特別(企画)展観覧料は無料です。